

北海道クラブ活動だより

クラブ活動は低調

コロナ感染者が9月に入り一時減少したが10月後半にぶり返し、北海道は28日、警戒ステージをレベル2に上げた。その後11月に入り感染者が10月の発生を上回る事態となり、レベル3になった。また、道や札幌市は歓楽街、薄野の飲食店に営業時間短縮を求めている。

こうした状況で、北海道民放クラブの各会も活動休止が続いている中、ゴルフの会は4月は中止したが、アウトドアで3密はないと7月と9月の2回実施。囲碁の会は10月に例会を再開した。碁会所では消毒液用意や碁盤半減、マスク着用、碁盤や碁石の消毒等コロナ対策をして感染防止策をとっている。マスクをしての対局は異常な感じで馴染めないがやむを得ない。しかし、11月になり患者数が急増、例会中止となった。再開の目途はついていない。

また、カラオケの会は開催を検討したが中止、歩く会は3密回避で休止となった。ファイターズ応援団も去年は観戦応援なしでシ



ズンを終えた。川柳の会も蕎麦屋での集まりはしていない。クラブ活動低調で、会計担当者は予算が余っているよと苦笑している。

1月の新年会はホテルと協議し

て、3密回避策をとって開催の予定だったが11月17日道が不要不急の自粛を要請したのを受けて、せつかくの新年会だったが急遽中止することになった。また、札幌市は警戒レベルを4に引き上げた。コロナ感染が収束することは考えられないので、今後の各会の活動もどうなるのか予測できない。

ホームページに新企画のセピア色写真館がスタートした。これは昔の懐かしいモノクロの写真を説明付きで掲載するもので、第一回は石狩浜の廃船や大倉山ジャンプの出ている。今後はカメラ会の会員の写真ばかりではなく、一般の会員の作品と思いつくも募集するという。どんな写真が出てくるのか楽しみだ。

ホームページにセピア色写真館

セピア色写真館 その1 山形(STV)



山形県山形市にある、大正時代の海軍工廠跡地。現在は山形県立博物館が建ち、その敷地内には大正時代の建物が残っています。



山形県山形市にある、大正時代の海軍工廠跡地。現在は山形県立博物館が建ち、その敷地内には大正時代の建物が残っています。

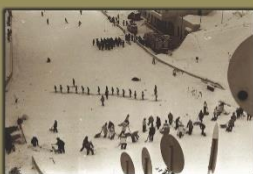


山形県山形市にある、大正時代の海軍工廠跡地。現在は山形県立博物館が建ち、その敷地内には大正時代の建物が残っています。

セピア色写真館 その2 新田(STV)



山形県新田町にある、大正時代の海軍工廠跡地。現在は山形県立博物館が建ち、その敷地内には大正時代の建物が残っています。



山形県新田町にある、大正時代の海軍工廠跡地。現在は山形県立博物館が建ち、その敷地内には大正時代の建物が残っています。



山形県新田町にある、大正時代の海軍工廠跡地。現在は山形県立博物館が建ち、その敷地内には大正時代の建物が残っています。